



やりたい仕事を探すな！自
分の才能を探せ！～天職発
見編～



才能発見カウンセラー

目次

目次

- ・ 天職適職発見の心得7カ条
- ・ ごあいさつ
- ・ やりたい事さがしの弊害
- ・ 理由1 名声
- ・ 理由2 お金
- ・ 理由3 家族の期待
- ・ 理由4 少年時代の夢
- ・ 理由5 趣味の延長
- ・ 理由6 得意な事
- ・ 地球最後の日
- ・ 三方よし
- ・ 人生で1番大切な仕事
- ・ 美しい生き方
- ・ 才能の3つの分野
- ・ 天職は違いを認めることから
- ・ 天職発見は単純だが、簡単ではない
- ・ 才能診断 1
- ・ 才能診断 2

「天職適職発見の心得7カ条」

(才能発見カウンセラー流)

一、人生のキーワードを見つける事

誰にでも存在価値があります 天から与えられた使命があります 「何の為に生きているのか」
その使命を理解することが入口

二、人生のキーワードを遂行する武器である才能に気づく事

才能は人生のキーワードを遂行する武器として与えられています 天は二物を与えず・・・誰にでも一つは才能が与えられていると言う事

三、仕事は才能を表現する場所である

仕事は自分の才能を表現する自己表現の場です 誰にでも一流になれる場所がある

四、好きな事＝苦勞しても良い事である

好きな事を仕事にしたいと思う人も多いが 決して楽しくて楽な事という訳ではない 苦勞しても続けたいと思うくらい好きであること それが情熱であり 情熱を持って努力出来るものを見つける事が大切

五、地球最後に日にもその仕事をやりたいと思える事である

人生のキーワード（使命）と聞くと 面倒に思うかもしれないが 苦痛ではなくやりたいと思える事である よって仮に地球最後に日が訪れるとしても最後の最後まで自分の生きたあかしとしてその仕事をやりたいと思えるはずである

六、お金をもらえなくてもやりたいと思えることである

主婦が天職という人もいます お金は人間がつくったものであり 人生のキーワードは天から授かったもの よって必ずしもお金の尺度では測れるとは限らない 一致するのがベストではある

七、三方よしである

近江商人の心得「売り手よし 買い手よし 世間よし」 天職適職とは 自己実現可能で
それが人に喜びを与えられ 社会貢献に繋がる 逆に自らの才能を発揮できないでいるのは社会損失

ごあいさつ

「ごあいさつ」

*やりたい仕事を探すな！自分の才能を探せ！～天職発見編は、私のブログ「才能の発見無くして天職適職の発見なし～生まれた時に才能は与えられている」の記事の中で、天職発見に役立つ記事を集めて編集したレポートです。よって、ブログ記事の書体になっておりますことをご了承ください。

こんにちは！！ 才能発見カウンセラーの寺田剛です。

企業の採用担当者として キャリアカウンセラーとして 占い師としてが2000人以上の面談で
出会って来たのは

「自分に合った仕事を見つけられないで苦しんでいる人々」でした。

この世に偶然生まれてきた人などいません。

生まれながらに怠惰な人もいません。

さらにこの世に生活する為だけに生まれてきた訳でもありません。

「自分に合った仕事に就きたい！！」

と望まない人はいません。

それは誰の中にも表現される事を待っている天才が眠っているからです。

私は人事担当と同時に100の部下を持つ管理職でもありました。

その中で「人間の能力には大差はない あるのは仕事の向き不向きだ！」と感じました。

仕事が上手くいかない人はまず向いてない仕事をしています。

自分の適性を理解していない事がそもそもの問題なのです。

仕事とは自分を表現する場所だと考えてください。

貴方は何を表現したいですか??

表現したいものがわからなければ表現しようがないのです。

まずは 表現されるのを待っている自分の中の天才に気づく事です。

天職適職を発見し、やりたい事に出会って 自己実現するにも順番が大切なのです。

入口を間違えると 人生の迷子になり、 出口を間違えてしまいます。

「天は二物を与えず」・・・誰にでも一つは才能が与えられているという事です。

まずはそれに気づく事が出発点です。

「才能が無ければ努力も無駄になる」・・・喜劇王チャップリン

「M-1を創設したのは才能が無い芸人に辞めさせるきっかけを与える為」・・・島田紳助

「天は二物を与えず～誰にでも一つは才能が与えられているという事」
自己実現には自分の隠れた才能発見が不可欠・・・才能発見カウンセラー 寺田 剛

「やりたい事探しの弊害」

今日からやりたい仕事や天職・適職がわからないという就職活動・転職活動中の人や自己実現・自分探しなど自分らしく成功したい人に向けてのメッセージ第1回目です。

やりたい仕事を探してもなかなか見つからずに苦しんでいる人はたくさんいます。

やりたい事は「見つけるもの」ではなく「見つかるもの」「出会うもの」だという事は以前お話ししました。

「出会い」なのです。

出会いは人だけではなく、本や映画など自分の人生で感化されるものすべてが出会いです。

しかし、自らが出合いを遠ざけている人もいます。

本人はそんなつもりはないのですが、仕事選びの価値観に少し問題があるのです。

ミスマッチの職業選択をする要素として**名声、給料、家族を含む世間体、少年時代の夢、趣味の延長、得意な事**などが要素としてあります。

それらの価値観への必要以上にこだわることは、自分を見失う事に繋がり、やりたい事に出会う妨げになる危険性も含まれているのです。

やりたい事に出会うには「**自分らしさ**」「**自分サイズの成功**」を基本にしないとけません。

皆さんにお聞きします。

「自分らしさって何？」

貴方は答えられますか???

答えられずに上記の要素にこだわれば、やりたい事探しの出会いが遠ざかります。

いや、ひょっとして、自分らしさがわからないから、上記のわかり易い要素に頼ってしまうのかもしれませんがね。

鳥は翼を使って空を飛ぶのが鳥らしさです。だから翼と言う武器が与えられています。

魚は水中を泳ぐのが魚らしさで、その為の武器であるヒレが与えられています。

同様に、貴方には、●●をするのが貴方らしさであり、貴方らしさを発揮する為に武器（才能）が与えられているはずなのです。

自分の隠れた才能を見つけ出せば、自分サイズの成功をしやすくなり、やりたい事にも出会えるはずなのです。

しかし、上記の要素に必要以上にこだわるのは（ある程度は構いませんが）、鳥が魚で成功する事を目指すに等しい事になります。

それこそ、翼という「宝の持ち腐れ」です。

しかし、人間界では、特にやりたい仕事探しや自己実現などで迷っておられる人の中にまさに

「残念！！」「もったいない！！」ことをされている人は多いのです。

なぜ、天職・適職探しの迷子になるのか。

次回より、その要素を一つ一つ分析して行きたいと思います。

「敵を知り、己を知れば百戦危うからず」

天職・適職探しに役立つと思います。

「理由1 名声」

前回のお話では、やりたい仕事や天職・適職がわからなく理由が6つあるという話をしました

今日はその1つである 名声について考えたいと思います

名声を得たいと言う名誉欲は誰にもあるものです

スポーツのヒーローや有名政治家 学者として注目を浴びるような発明する事、会社では出世する事などなど

テレビや新聞などでインタビューを受けるなど誰もが憧れる事でしょう

しかし、憧れるのは有名になった「結果」に憧れているのではないのでしょうか??

例えば、ビルゲイツのように大金持ちになりたいと思う人も多いでしょう

しかし、それは「成功した姿」に憧れているだけで、それまでの寝る間も惜しむ努力に対してはどうなのでしょう

「チャンスが訪れるまで苦勞するのは嫌だ!!」という人もいるでしょう

名声に惑わされると、自分に授けられた才能を無視し、天職には程遠い物を目指してしまい、挫折の失敗経験を味わい、自身を喪失してしまう危険すらあるのです

名声を得たいのなら、自分に授けられた才能やチャンスが来るまで待ち続けられるくらいの情熱

を持てるものに対してするべきです

それが天職です 天職とは、

- 1、「人生のキーワード」・・・自分が何をする為に生れて来たのか
- 2、「才能」・・・人生のキーワードを遂行する為に与えられている武器
- 3、夢中になれる好きな事・・・チャンスが来るまで耐えられる忍耐力が発揮できるくらい夢中になれる

の3つの要素のすべてを満たす必要があります

どれが欠けても、「退屈な仕事を生活の為にする」義務の仕事になってしまいます

「理由2お金」

就職活動で給料を基準に仕事・会社選びをする人も多いでしょう

福利厚生なども含めて得られる権利・待遇で選ぶケースは多かれ少なかれ誰にでもあるものです

誤解のないよう申し上げますが、名誉と同様ほどほどには結構なのですが、あまりにこだわりすぎてしまうのは自分の天職・適職を見失う危険性があるという事を申し上げたいのです

お金＝幸せに直結するというのは幻想です

確かにこの世の中ではお金は活躍してくれます

お金を大切に扱うのは大切な事ですが、充実感とともに得られる報酬を目指すべきです

「地位」「名誉」「財産」

すべて天国にお土産として持っていけないのです

冥土のお土産に持っていけないものを得ようとして必死に努力している人間がたくさんいます

その結果、ストレス、過労、家族崩壊などの悲劇を経験する人もいます

よく、幸せな金持ちを目指そう！！と言われます

その為には、まず、人生のキーワード（N02参照）に出会う事が大切です

人生のキーワードに沿った生き方、才能の表現に仕方に出会う事が第一歩です

その過程の中で喜びとともに大いに経済的報酬を目指して下さい

「理由3家族の期待」

これはよく、敷かれたレールの上を走るなどと表現する人もいます。

例えば、医者、経営者、政治家の親は子供に後を継がせたいと考えたりします。

それ以外の職業にも、第1や第2の要素を子供に期待する親は多いものです。

いわゆる世間体というものも第1の要素と含めて第3要素に入ってくるかもしれません。

当然 親の期待に応えたい、喜ばせたいというのは悪い事ではないと思います。

ただ、自分がその仕事に情熱を感じるかどうかは大切です。

情熱を感じられない仕事を選ぶと 就業のベルを待ち焦がれる苦痛な時間を過ごす事になります。

人生の時間の大半を使う仕事の時間が苦痛であれば悲劇の人生を送る事になります。

前述のとおり、チャップリンは仕事で成功するには「才能」が必要であると言っています

私は天職・適職とは3つの条件を満たす職業だと思っています。

1、人生のキーワードに沿っている（この世に生まれてきた意味）

*誰でもこの世で果たす使命を授けられて生まれてきている。

2、才能

*人生のキーワードを果たす為の武器として才能が与えられている。

3、夢中になれる事である

*ワクワク感がある、夢中になれる、情熱があるなど。

上記の3つが一つでも欠けると義務感で行う仕事になってしまいます。

6つの要素にこだわり過ぎて職業選択をするのは 3つの条件からずれてしまい 天職・適職と出会えない道を彷徨い続ける危険性があります。

「理由4 少年時代の夢」

前回 天職・適職は3つの条件を満たしていることという話をいたしました。

宇宙飛行士、プロ野球選手、サッカー選手、ミュージシャン、モデルなど小学校の卒業文集に将来の夢で書いた人も多いでしょう。

その夢を追い続けて実現する人もいますが、多くは高校生くらいになれば子供の頃の夢は忘れられてしまっているものです。

子供の頃の夢を職業にするには、天職・適職の3つの条件をすべて満たす必要があります。

なぜなら、仕事には「資格が必要なもの」と「資格はいらないが才能が必要なもの」があるからです。

例えば、医者や弁護士は資格が必要です資格がないとできません。

逆にプロ野球選手やタレントになるのに資格は必要ありません 成功する為には才能が必要なのです。

資格が必要な仕事は 努力して勉強して「努力は人を裏切らない」のセリフとおりになる可能性があります。

しかし、才能が必要な仕事は努力に限界があるのです。

チャップリンや島田紳助さんはこの部分の事を言い当てています。

子供の頃に描く夢は「才能が必要な仕事」であるケースが多いのです。

人生500年くらい生きられるのであれば、私も今から子供の頃の夢であるプロ野球選手に挑戦するかもしれません。

50年くらい遠回りしてもいいからです。才能（体の大きさも含む）がないのはわかっているけど子供の頃の夢に挑戦したという満足感を味わえるからです。

しかし 人生せいぜい80~100年です。

自分の輝ける場所で自分らしさを発揮するのが幸せだと思います。

紳助さんの言葉は、芸人で成功を夢見ている人には酷に聞こえるかもしれませんが、「誰にでも一流になれる場所があるから 早く軌道修正しなさい！！」

というエールだと私は思っています。

自分の輝く場所に行く為には、天職・適職の3つの条件を自分でまず理解する事から始める事です。

何事にも順番があります。

順番を無視すると人生の迷子になってしまいます。

入口を間違えると出口を間違えるのは当然です。

迷子になっている時間は出来るだけ少なくしましょう。

人生80年 自分らしく成功する時間しかないと言えるかもしれません。

「理由5 趣味の延長」

今日の話は前回の子供の頃の夢に似た部分もあります。

天職は3つの要素をすべて満たす必要があります。

「人生のキーワード」「才能」「夢中になれる」の3つです。

趣味の延長を職業にしている人は幸せですし現にいらっしゃいます。

それは3つの要素を満たせばの話です。

以前 ソフトバンクのCMで犬の白戸二郎君が、

「夢で飯は食えないよ」と新しいお父さんに言うセリフがありました。

子供の頃の夢や趣味の延長で3つの要素が揃っていない場合はそうなる可能性が高いでしょう。

1つや2つ条件を満たすだけでは駄目なのです。

私も2年前に始めたマラソンに夢中になっています。

今年はゴールドコーストマラソンに出場するべく張り切っていますし、ほぼ毎日のように走っています。

周囲の人からすれば、「凄い努力をされていて、感心する」などと言われますが、私は好きで走っているだけです。

努力の量としてはかなりの距離を走っていると思います。

しかし苦痛ではなく楽しいのです。

楽しく努力出来て理想的なのですが、「人生のキーワード」と「才能」には無関係なので天職ではありません。

1つしか要素を満たしていないので職業には出来ません。

ただ 関わり方を考え直したら天職になるかもしれません。

それだけ情熱を持てるのなら、選手としては無理でも 資格をとり、トレーナーになるとか、スポーツマネジメントなどフロント側にまわるなど少し立ち位置をずらして考えてみるのも良いかもしれません。

選手時代に無名だった人が、名監督になったという例はたくさんあります。

指導力や管理能力という才能が活かされたのかもしれません。

どうしてもあきらめられない業界で しかし「才能」が無い場合は 関わり方を変えて考えるのも一つの手です。

漫才師としては駄目でも 漫才脚本家としては才能があるかもしれないのです。

いずれにせよ、3つの条件を満たす必要があるということは忘れないでください。

誰にでも3つの条件を満たす場所があるのです。

この世に偶然生まれてきた人なんていません。

誰にでも輝ける場所があるのです。

「理由6 得意な事」

何度も申し上げているように天職は3つの要素をすべて満たす必要があります。

「人生のキーワード」「才能」「夢中になれる」の3つです。

才能にもスキルな要素と肉体的な要素など色々な側面があります。

ルックスの良さは肉体的要素で将来はモデルを目指せ！！などと周囲から言われるかもしれません。

サッカーの上手な選手も肉体的な要素とサッカーの技術というスキルの要素を備えていれば将来はプロを目指せ！！と言われるかもしれません。

スキルの要素の中には専門知識も含まれます 例えば学者、研究者などは博学と言うスキルの要素であるわけです。

サッカーの上手い人が 才能があれば周囲からはプロを目指せ！！と言われるかもしれませんが、当の本人が実は、 医者になりたいという夢を持っているかもしれないのです。

顕著な才能があるばかりに、本人の夢中になれるかどうかの部分を見逃した職業は天職ではないのです。

私が行っている才能鑑定や占いで 隠れた才能に芸術センスを持つ人はよくいらっしゃいます。

しかし いくら才能があっても本人が芸術に興味がない場合も多いのです。

自分の気持ちに嘘はつけません。

まずは自分の気持ちに正直になることが先決です。

他人の期待に応える＝優秀な人

という世間体に慣れて育ってきた人ほど 自分の気持ちに正直になる事を抑制しがちです。

それで自分のやりたい事や天職・適職に出会えないという事にならないように気をつけてください。
い。

「地球最後の日」

読者の中には 縁起の悪い話のように思われた方もいらっしゃるかもしれません。

天職・適職の話と関係ない話のように思われた人もいらっしゃるかもしれません。

しかし 関係あるのです。

今までは天職・適職をわからなくなる6つの要素を取りあげました。

天職は3つの要素をすべて満たす必要があるということも同時に申し上げました。

今回はそれ以外の視点から天職・適職を捉えてみたいと思います。

ここで質問があります。

明日 地球が最後の日だとすれば 今やっている仕事・これからやろうとする仕事をやりますか??

明日が地球最後の日です。

例えば 、午前中は趣味の時間、夜は家族や友人など大切な人と過ごす時間、午後からは仕事をしないといけない時間と決まっているとします。

今の仕事を これからやろうとする仕事をしますか??

「YES」なら間違いなく天職です。

前回の話で自分の心に嘘はつけないと申しました。

最後の1日まで嫌な仕事をする人はいないと思います。

生活の糧を得る為に仕方なく今の職業を選んでいる人が多いのも事実です。

しかし、天職とは必ずしも「お金を稼げる職業」というわけではありません

なぜなら 貴方は生活する為にこの世に生まれてきたわけではないからです。

個人個人 「人生のキーワード」があり その為にこの世に生を受けたわけです。

つまり 専業主婦が天職という人もおられる訳です。

家族の健康や生活を守るという人生のキーワードなら充分天職なのです。

世間のイメージでは 天職・適職とは稼ぐ為にする職業というニュアンスが含まれているようですが、それは人間世界という狭い世界の話です。

天職 文字通り 「天の意思に沿った職業」であるはずですが、人生のキーワードに沿った職業です。

私は天職とは 「人生のキーワードである使命を果たす行為であり、 人類の幸福に貢献するものであり 、自らも自分を表現し充実感を得られる行為である」と思っています。

地球最後の日、 午後から 家族の幸せの為に、 大好きな得意の料理を 腕を懸けてふるまう 専業主婦の人は立派に天職である仕事を果たすと言う事になるのです 。

「お金はいらない！」

今回は天職の絶対条件である3つのポイント以外に必要条件N01をお話ししました

今回は必要条件N02「報酬がもらえなくてもその仕事（その行為）がやりたいかどうか」です

N01は地球が最後の日でもその仕事（その行為）がやりたいかどうかでした。

N02も同じ発想です。

つまり地球が最後の日なら 報酬などいらないはずです。

お金をもらっても使う機会がないわけです。

実際は「労働」に対する対価として「報酬」を受け取りますのでお金をいただく事になるでしょうが、ここで問題視しているのは本音の部分です。

お金をただけなくてもその仕事（その行為）をやりたいと思うのなら天職です。

天職とはいわゆる「労働」というニュアンスではないのかもしれませんがね。

労働と聞くと 何かイヤイヤやるもの というイメージが出てくるのは私だけではないと思います。

天職とは 自分の才能を表現する自己表現であり、その行為そのものが他人に対する愛の表現であると思います

自分を表現する = 社会貢献

自分の喜び = 他人の喜び

に繋がるものだと思います。

「三方良し」

天職適職がわからなくなるのは6つの要素によって自分を見失うケースが多いという事。

天職を見つけるには3つの絶対条件（人生のキーワード、才能、夢中になれる事）を満たすことであり、さらに3つの必要条件が大切と言うお話をさせていただいております。

前回の話しは 3つの必要条件のN02「お金はいらない！！」でした。

今日は必要条件のN03 三方良しです。

ご存じ私の地元である 近江商人の商売の姿勢として有名です。

「売り手良し」「買い手良し」「世間良し」

これは自身の天職を客観視した際にも同じ事が言えます。

自己表現が 多くの人の喜びに通じて 社会貢献につながるということです。

これは絶対条件の人生のキーワードに関連します。

自分の使命・この世で果たす役割（人生のキーワード）が不幸につながる行為であるはずがありません。

まず自己表現出来るということで何より自分に喜びがあるはずです。

義務ではたす労働では 終業のベルが歓喜でしょうが 天職では 就業が歓喜になるでしょう。

貴方は生活する為にこの世に生まれてきたわけではありません。

自分を表現して喜びを得る＝人生のキーワードに沿った生き方をする＝与えられた才能を発揮する＝他人の喜びに繋がるというプラスの連鎖になるはずです。

その連鎖を起こし その輪の中に入る為に この世に生を受けたと言えるでしょう。

自分が行う仕事は 3つの絶対条件を満たし 3つの必要条件に合致しますか???

「人生で1番大切な仕事」

今日は この言葉から始めたいと思います。

「人生で1番大切な仕事は 好きな事を見つけることだ」 堺屋 太一

以前の記事「努力の定義」で、人から言われてやった事は、努力とは呼ばないという事を書きました。人から言われてやった練習は練習とは呼ばない（漫画メジャーより）さらに 映画監督の伊丹十三さんも「自分に出会えない者は何物にも出会えない」とおっしゃっておられます。

努力出来るものや天職適職に出会う事ということが 人生で1番大切な仕事と言えるでしょう。

出会いなのです。

出会いとは人との出会いだけではありません。

感動した映画 本 言葉 チャンス などなど。

もちろんピンチも出会いです。

その時は苦しいかもしれませんが 自分を成長する為の出会いと言えるかもしれません。

好きな事も隠れた自分の才能も天職適職も出会いなのです。

探しまわっても必ず見つかるという訳でもありません。

必死になって恋人を探そうとしても恋人が見つかるとは限らないのと同じです。

いつの間にか出会っていた、という感じでしょう。

そうすべては出会いです。

いつ出会うか タイミングは人によって違うでしょうが・・・

出会いたい時に出会えない事の方が多いかもしれませんね。

なぜなら 出会いのタイミングには 相手側の都合があるからです。

天職さんにも都合があるかもしれませんからね（笑）

でも一生かけても待つ価値のある出会いもあります。

しかし なるべく早く出会いたいですね。

「一番大切な仕事は 好きな事に出会うために何をするか」だと思います。

もちろん まずは 自分を認識する事から始めるべきだと思います。

具体的には、貴方の才能を見つける事。

貴方の中には 発見されるのを待っている天才が眠っているのですから。

それを入口に 転職適職ややりたい仕事 に出会いましょう！！

「美しい生き方」

「自分に授かった才能に生きる事がもっとも美しい生き方だ」 ゲーテ

そのとおりですね。

自分の才能や持ち味を発揮している人がまぶしく見えるものです。

輝いているという表現でしょう。

しかし、自分の才能ややりたい仕事・自分に合った仕事って、見つけようと思って見つかるもの
ではありません。

才能は 認識するもの ですし、 やりたい仕事は、 出会うもの だからです。

自分を認識していない人や、やりたいことがわからない人はまだ、自分の才能ややりたいことに
出会ってないだけなのです けっして能力がないとかというわけではないのです。

「天は二物を与えず」・・・誰にでも一つは才能が与えられているという事。

私の持論ですが、ゲーテも同じことを言っていたのだな～と思って紹介させていただきました。

まずは自分の隠れた才能を読み解くのが 人生の宿題 と言えると思います。

「才能の3つの分野」

商才、文才、学才、楽才、画才、弁才などと才能は表現されることがあります。

商才のある子供に 医者になるように教育するのはミスマッチが生じるかもしれませんよね。

親や学校に期待する事の一つに「子供の中に眠る天才に気づいてあげる事」が挙げられると思います。

もちろん そんな簡単な事ではないでしょうが・・・

才能と言っても 3つの分野があります。

知的分野の才能

肉体分野の才能

性格分野の才能

前述した 商才、学才などは知的分野の才能です。

ここで良く勘違いをする人がいます。

知的分野の才能がない＝才能がない と判断する事です。

さらに 「勉強が出来なければスポーツは？」という話になります。

これはもちろん肉体分野の才能は？という確認になります。

ちなみに肉体分野は身体能力だけでなく ルックスも含まれます（モデルなど）。

この2つが無ければ 才能がない と判断する傾向があります。

それは間違いです。

才能は単体で発揮される事が少ないのです。

複合的に発揮されるケースがほとんどです。

私は「忍耐力」「適応能力」が最高の能力と申し上げておりますが、いくら商才に恵まれていても「粘り強さ」という性格的才能を研鑽し、「忍耐力」という能力にして 複合的に使わないと商才も上手く発揮されないでしょう。

活動的な性格の人もいれば 内向的な性格の人もいます。それぞれ持ち味が違うのです。

物事を分析するのが得意な人もいれば 人と交渉するのが得意な人もいます。

一人でコツコツ仕上げて行くのが得意な人もいれば 皆で協力するのが得意な人もいます。

よって才能とは 3つの才能のうちの2つ以上が連動して発揮される場合が多いのです。

その才能が眠る場所が「人生のキーワード」なのです。

「天職は違いを認めることから」

天職適職に出会う為には才能に出会う事が大切と伝えていますが

それは別の表現言うと「本来の自分に出会う事」ということになります。

しかし 現実的に「他人が望む人間」になろうとしている人もいます。

スポーツ選手のインタビューで「ファンの期待に応えられるように頑張ります」とか。

「世の中に人に役立つ人になりたい」など他人の期待に応えようとする姿勢が優秀な人間の姿勢だというイメージがあります。

人に役に立つ事自体は素晴らしい事です。

しかし 他人が望む人間になろうとすることによって 本来の自分を見失ってしまう危険性があると言う事も理解しておかなければなりません。

私はマラソンをやりますが 「あんな大変なことよくやるね」とか言われます。

つまり「どこがおもしろいの？」と

自分は楽しいからやっているのです。

他人から「どこが面白いの？」と言われるような事が 本当にその人にとっての面白い事だと思います。

わかりますか??

他人から呆れられるくらいに夢中になっている状態だからです。

人によっては釣りだったり 麻雀だったり 読書だったり 人それぞれ違います。

人と交流する事が好きな人もいれば 一人でいる事が好きな人もいます。

それを「自分は友達付き合いが悪い」と悩む必要もないのです（一人の時間が好きな人は）。

静寂な時間の確保は立派な基本的欲求の一つです。

本来の自分を見失いがちの人は まずは 他人の視線や世間の期待や常識から少し離れてみましょう。

本当の自分は 他人とは違っている 一人ひとり 喜びに感じる事も違うし価値観も違うのだ。

「**違っている事に意味があるのだ**」というところから 再スタートするのもよいかもしれません。

「**違っているから素晴らしい！！**」

「天職発見は単純だが、簡単ではない」

単純だが、簡単ではない。

単純と簡単は違う！！

コロブスの卵のような事ってたくさんありますよね。

後からすれば、「な～んだ！そんな単純な事か！！」って。

実は天職発見もそんな感じだと思うのです。

今でこそ、才能発見カウンセラーとして、キャリアカウンセラーとしてアドバイスさせていただく立場になっていますが、

実は、私も17年間自分探しの迷子になっていたのですから。

今の仕事は、自分探しの迷子になっている人や天職探し、やりたい事がわからずに苦しんでいる人に

少しでも回り道を少なくしていただきたくてメッセージを送っています。

皆さんに対して発しているメッセージですが、同時に20代の自分（やりたい事探しの苦しんでいた自分）に対して時空を超えてメッセージを送っているような気になる時もあります。

20代の自分に対して励ましているような・・・

やりたいこと探しに苦しんでいる人の面談でも、20代の自分をそこに見ているような気になったりするものです。

「入口を間違ふから、迷子になり、出口を間違ふ」

今言うとは単純なのですが、気づくには簡単ではなかったのです。

「才能診断とは」

天職発見ややりたい事探しは才能発見から。

入口を間違えると自分探しの迷子になり出口を間違える。

すべての生き物には、それぞれに生きる場所と機能を与えられています。

鳥には翼が、魚にはヒレが、 芸術家には芸術センスが

貴方には何が？ ??

「才能診断」で明らかにして下さい。

誰の中にも発見されるのを待っている才能が眠っています。

一生の宝として使える自分の眠った才能を発見してください。

人間は先天的に得意分野と不得意分野を併せ持っています。

私は過去に100人の部下を抱えて仕事をした事があります。

その時痛感したのは、「人の能力には大差はない。仕事に向き不向きがあるだけだ」と。

向いている分野では学習能力のスピードも理解力も集中力も発揮されます。

しかし、不得意分野では、その能力が半減され、いずれは興味も薄れ、失敗経験とともに自信すら失う人も出てきます。

管理能力のない管理職、お客を怒らせてしまう接客の店員、リーダーシップのない政治家など職業のミスマッチはいたるところに存在します。

「才能が無ければ努力も無駄になる」 喜劇王チャップリン

「人間の最も美しい生き方は、授かった才能に忠実に生きる事だ」 ゲーテ

人間にも自分に相応しい才能が 生まれた時に授かっているのです。

その才能を無視した職業選びは、「自分らしさ」からかけ離れて、不平不満の人生になる危険があります。

才能診断の3つの内容

1、人生のキーワード

「宿命」の中に、貴方が生まれて来た意味や意義が隠されています。存在価値であり、自分が何の為に生きているのか、どんな使命を持って生れて来たのかという答えと言って過言ではありません。偶然生まれてきた人などいません。又、存在価値のない人などいないのです。この世に貴方は「使命」を与えられて生まれてきています。その使命遂行が貴方の存在理由なのです。

2、「才能」

人生のキーワード、つまり、貴方に与えられた使命を遂行する為の武器として才能が与えられています。眠っている才能という言い方をしますが、人生のキーワードの中に貴方の才能が眠っています。

3、天職適職や今後の運勢のアドバイス

才能を表現する場所が仕事です。天職とは、貴方に与えられた才能を表現出来る場所なのです。又、人生にも運気があります。準備の時期や運気がアップする時期など様々です。秋には桜は咲かないのと同じで、貴方の人生の花を咲かすのも時期があります。準備した者が勝つのが人生です。準備は整っていますか。

才能診断 2400円

ご質問、お申し込みはお問い合わせください。

お名前（ふり仮名）、生年月日、連絡先（メールアドレス）を明記の上お申し込みください。

Ikkyu14t@usennet.ne.jp（最初のiは小文字です）

実際に才能診断を受けられた人の声です。

大阪府 22歳女性

就職の面接で上手く自分をアピールできないので、就職活動に役立つと思い診断を受けました。以前友人から言われて忘れていた事が鑑定結果に出ていたのでびっくりしました。おかげで、自己分析が上手くいき、面接での自己アピールも上手くいきました。ありがとうございました。

神奈川県 28歳女性

自分の子供にどんな才能があるのか知りたくて才能診断を受けました。以前も自分の事で寺田先生にアドバイスをいただいた事があり、非常に的確なアドバイスをいただいたので、自分の子供にどんな教育を受けさせようかと考えていた時でもあり、才能診断に申し込みました。大きな参考になりました。又、我が子の中に眠る才能に気づいてあげることの大切さを教えていただきありがとうございました。